

報道関係者各位

2019年1月7日

## 年頭所感

株式会社トクヤマ  
代表取締役 社長執行役員  
横田 浩

2019年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

### 1. 2018年を振り返って

2018年の年初は、世界経済の安定成長の見通しによる株高、技術革新によるエレクトロニクス市場の拡大期待などから極めて明るい見通しが支配的でした。ところが、懸念されていた国際的な政治リスクが顕在化し、中東情勢の混乱が続く中、資源価格の高騰や米中貿易摩擦にみられる保護主義的な動きなど、世界経済の混迷がさらに深まっています。

その一方で、ESG、SDGsなどの潮流を背景に、地球温暖化への対応をはじめとして、企業は社会の一員としてその存在価値を問われています。

### 2. 化学業界のトレンドとトクヤマグループの課題

化学業界は、中期的には新興国主導の経済成長や半導体市場の底堅い需要が予測されるものの、2019年は資源価格の不透明さや、米中貿易摩擦の影響による景気の下振れリスクが拡大しており予断を許さない状況です。

こうした状況下にあって、中期経営計画を成し遂げるためには、伝統事業では国内トップのコスト競争力を目指し、自家発電所に依拠しない本質的な投資・設備管理・運転のオペレーション能力を上げることが必須です。原料調達から出荷に至る全体プロセスを徹底的に理解した上で、外部の優れた技術を取り入れるとともに、AI・IoTなどの革新的技術を含めた業務プロセス改革を進めることで変動費・固定費の無駄を徹底排除することを推し進めなくてはなりません。

また、成長事業においては、顧客との関係強化を図り、次世代の開発テーマを増やすこと、開発スピードを上げるためにオープンイノベーションを積極的に活用することが大切です。

前述の課題を進めていくために、人材育成はもちろんのこと、新卒・中途採用にこだわらず、必要な人材を積極的に採用し、実行可能な体制を構築していきます。

### 3. 今年、一番大事にしてほしいこと

仕事を通じて人間的にも成長し、経済的にも豊かになることが何より大事です。

仕事全体が分かると改革のアイデアが湧いてきます。そうすると仕事の責任感が高まり、仕事を通じて勉強し成長を実感できる、そんな好循環が生まれるはずです。トクヤマのビジョンに定めた4つの価値観を心掛け、ぜひワクワク感を感じながら仕事に取り組んでください。

#### 4. 持続可能な社会の実現のために

昨年 10 月から徳山製造所では、工場企画運営 Gr.を中心に CO<sub>2</sub>の大幅削減、エネルギーの完全利用を目指して、新たな取り組みをスタートしました。環境面でも世の中に誇れる会社になりたいと思います。

トクヤマグループの取り組みや製品がどのように世の中の役に立っているのか、それをグループ社員全員が認識し、誇りを持てる会社にすることで、目標に対するやる気や自律心が育つものと思います。こうした働き掛けが十分ではなかったと反省しつつ、今後しっかりと発信していきます。

創業の精神に立ち返り、自律心にあふれた会社にしていきましょう。

以上